

## 第6回運営推進会議記録

事業者名および住所	合同会社 たけのこカンパニー 逗子市逗子3-3-23
事業所名および住所	リハビリセンター彩 逗子市逗子3-3-23
開催日	令和3年11月19日（金）
開催場所	リハビリセンター彩
出席者	事業者 竹内 美穂 家族代表 1名 民生委員 木村 様  (逗子市高齢介護課と逗子市中部地域包括支援センターは業務の都合により欠席)
議題・課題	(1) 利用者状況について (2) 職員の状況 (3) 報酬加算状況 (4) 事故報告書 (5) 活動報告 ①個別機能訓練について ②地域交流について ③作業療法士実習生受け入れ (6) 実地指導について (7) 質疑応答、要望、意見交換
活動報告	①個別機能訓練について ・ハンドセラピー 10名(要介護クラスのみ再開) ・歩行補助具相談 6名 ・麻痺側手指訓練 4名 ・補装具などの相談 4名 ・腱鞘炎予防ストレッチ 3名 ・嚥下訓練（DVD使用） 1名 →大声を出さず発声訓練は中止  ②地域交流について ・感染予防のため中止  ③作業療法士実習生受け入れ ・令和3年 6月14日～2か月 東京工科大学 1名 ・令和3年 8月30日～2週間 東京工科大学 1名 ・令和3年 9月21日～2週間 東京工科大学 1名

<p>質疑応答・要望・意見交換</p>	<p>(家族代表よりご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅訪問時に階段のすべり止めがあった方が良いと助言をもらったことがとてもよかった。</li> <li>・実地指導で指摘を受けた避難訓練について。地域住民に避難訓練に参加してもらおうとの話したが、彩が社会資源として機能することで民生委員の方の負担にならずに済むと考える。</li> </ul> <p>(木村民生委員よりご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中に根付いていれば、自然と助け合える関係になる。もっと地域の方に彩のことを知ってもらえると良いと思う。</li> <li>・避難訓練に関しては、要請があれば参加したい。</li> <li>・自治会の役員や民生委員の高齢化が進んでいる。定年まで務めた後も仕事をする人が増えているため、昔のように定年後に地域のために活動する人がいなくなっているように感じる。福祉施設が地域の一員として活動してくれることはいいと思う。</li> </ul> <p>(ご家族代表よりご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムはどうなっているのか。地域包括支援センターの職員に聞いたかったが、不在のため彩の管理者に尋ねたい。</li> </ul> <p>→逗子市は困りごとがあったとき、市役所や包括支援センターがよく相談のってくれる。地域の助け合いの仕組みはもちろん活用されているが、介護保険サービスで丁寧に対応してくれているイメージを持っている。</p>
<p>その他必要な事項</p>	<p>次回開催予定 2022年5月頃</p>